

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年01月07日

計画の名称	安全・安心、快適な地域をつくる人のまち（防災・安全）											
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）											重点配分対象の該当
交付対象	富士見市											
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,820	A	1,820	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	定量的指標の定義及び算定式	計画の成果目標（定量的指標）		定量的指標の現況値及び目標値	
		当初現況値	中間目標値	最終目標値	
				H30当初	R2末
1	別所雨水ポンプ場の設備機器等更新工事の実施率を0%（H30）から100%（R4）に増加させる。 別所雨水ポンプ場の設備機器等更新工事の実施率 更新工事実施箇所（0施設）／（3施設）	0%	33%	100%	
2	5か年における下水道都市浸水対策達成率を0%（H30）から100%（R4）に増加させる。 5か年における下水道都市浸水対策達成率 浸水対策完了済面積（ha）／浸水対策目標面積（1.0ha）	0%	50%	100%	
3	下水道ストックマネジメント計画を策定させる。 下水道ストックマネジメント計画策定率 下水道ストックマネジメント計画策定件数1件／下水道ストックマネジメント計画を策定すべき件数1件	0%	100%	100%	
4	雨天時浸入水対策計画を策定させる。 雨天時浸入水対策計画策定率 雨天時浸入水対策計画策定件数1件／雨天時浸入水対策計画を策定すべき件数1件	0%	0%	100%	
5	下水道総合地震対策計画を策定させる。 下水道総合地震対策計画策定率 下水道総合地震対策計画策定件数1件／下水道総合地震対策計画を策定すべき件数1件	0%	0%	100%	

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																		
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）		全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況		
									H30	H31	R02	R03	R04					
		一體的に実施することにより期待される効果																
備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	管渠（雨水）	新設	新河岸川第五排水区の雨水水管整備	L = 1 km	富士見市					1,012	-	
	A07-002	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	ポンプ場	改築	別所雨水ポンプ場設備機器等更新事業	水処理施設、ポンプ設備、発電機設備の更新	富士見市					600	策定済	
		ストックマネジメント計画																
	A07-003	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	-	改築	下水道ストックマネジメント計画策定業務	計画策定及び調査	富士見市					170	策定済	
		ストックマネジメント計画																
	A07-004	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	管渠（汚水）	改築	管渠施設更新事業	対策工事（更生等）	富士見市					0	策定済	
		ストックマネジメント計画																
	A07-005	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	管渠（汚水）	改築	雨天時浸入水対策計画策定業務	計画策定及び調査	富士見市					30	-	
		下水道総合地震対策計画																
	A07-006	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	-	改築	下水道総合地震対策計画策定業務	計画策定及び調査	富士見市					8	未策定	
		下水道総合地震対策計画																
												小計				1,820		

A 基幹事業																	
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）			全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況
		H30	H31	R02	R03	R04											
		一體的に実施することにより期待される効果															
備考																	
												合計			1,820		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 富士見市下水道事業審議会	事後評価の実施時期 事前説明：令和6年10月21日、評価：令和6年12月13日
	公表の方法 富士見市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>別所雨水ポンプ場において、老朽化した水処理施設及びポンプ設備を更新することで適切な機能を確保し、水谷東地区の浸水対策強化を図ることができた。</p> <p>水子地区（新河岸川第五排水区）において、新たに別所雨水幹線を115.7m整備し、浸水被害軽減を図ることができた。</p> <p>平成30年度にストックマネジメント全体計画を策定して今後の改築方針を定めると共に、令和元年度にポンプ施設、令和2年度に管路施設に係るストックマネジメント実施計画を策定し、優先順位の高い箇所から計画的に老朽化対策を取り組めるようになった。</p> <p>令和3年度に雨天時浸入水対策計画を作成、令和4年度に同計画を策定させ、優先順位の高い処理分区から計画的に雨天時浸入水対策を取り組めるようになった。</p> <p>令和4年度に下水道総合地震対策計画を作成、令和5年度に同計画を策定させ、優先順位の高い箇所から計画的に地震対策に取り組めるようになった。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	<ul style="list-style-type: none"> ・現在実施している別所雨水ポンプ場の発電機設備については、別途、令和5年度水管管理・国土保全局所管補助事業補助金を活用し、更新工事に取り組む。 ・安全・安心、快適な暮らしを実現するため、次期社会資本整備計画（令和5年度～令和9年度）においても、各種計画を更新すると共に、各種対策に取り組む。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	100%	平成30年度・令和元年度の下水道ストックマネジメント計画策定業務において、現状把握のうえ優先順位を検討し更新設備を選定した結果、工事工期に変更が生じたことから3施設のうち1施設（発電機設備）が目標未達成となった。
	最終実績値	67%	
2	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	
3	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	
4	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	
5	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	

(参考図面) 社会資本総合整備計画（防災・安全）

